

元王者・木村章司、日本2位・瀬藤選手と指名挑戦者決定戦！

日本スーパーバンタム級1位(元日本同級チャンピオン)・木村章司(30歳=24戦20勝7KO2敗2分)が2008年2月18日(月)後楽園ホールで日本スーパーバンタム級2位・瀬藤幹人選手(協栄=28歳=32戦25勝12KO6敗1分)と対戦する事が決まった。

日本ランキングのトップ2がノンタイトル戦で対戦するというボクシングファンの注目度が非常に高い好カードである。日本タイトル奪回を目指す木村としては 指名挑戦資格(1位)の座を守る為に絶対に落とせない一戦。15連勝中の瀬藤選手の勢いは驚異だが、ここはチャンピオン経験者・木村が円熟したテクニカルボクシングで乗り切る事を期待する。

元王者・福島学、激闘男・池田選手との再起戦決定！

日本バンタム級10位(元OPBF東洋太平洋、日本スーパーバンタム級チャンピオン)・福島学(33歳=41戦30勝19KO8敗3分)が、2008年2月28日(木)後楽園ホールで日本フェザー級のA級ライセンス・池田光正選手(角海老宝石=33歳=27戦13勝9KO11敗3分)と対戦する事が決まった。尚、この日は花形ジム主催興行「第1回花形スペシャルファイト」でメイン出場の福島(8回戦)の他に佐藤 昭、鎌田剛幸が8回戦で伊藤圭太、小野 心、中川健司が6回戦でそれぞれ出場が決まっている。

【補足】福島仕はリングネームを元の福島学に変更しています。

◇試合予定 **2008年2月28日後楽園「第1回花形スペシャルファイト」開催！6選手出場！**

日付	場所	選手名	戦績	ラウンド	クラス等
1月31日(木)	後楽園ホール	今関 佑介	5戦1勝4敗	4回戦	56.3kg契約
2月18日(月)	後楽園ホール	木村 章司	24戦20勝7KO2敗2分	10回戦	56kg契約(日本2位と対戦)
2月28日(木)	後楽園ホール	福島 学	41戦30勝19KO8敗3分	8回戦	フェザー級
同	同	佐藤 昭	18戦6勝1KO12敗	8回戦	フェザー級
同	同	鎌田 剛幸	13戦7勝1KO3敗3分	8回戦	フェザー級
同	同	伊藤 圭太	11戦5勝1KO5敗1分	6回戦	スーパーバンタム級
同	同	小野 心	10戦8勝2KO2敗	6回戦	ライトフライ級
同	同	中川 健司	9戦6勝2KO2敗1分	6回戦	フェザー級

菊井徹平、判定負けでジム初の日本タイトル2階級制覇ならず。。

11月23日(金=祝)、神戸ファッションマート特設リングで行われた日本バンタム級タイトルマッチ。挑戦者・前日本スーパーフライ級チャンピオン・菊井徹平が2階級制覇に向け終始果敢に攻めたが、体格差で上回るチャンピオン(WBA12位、WBC13位)三谷将之選手(高砂)の威力ある有効打数に一步及ばず、判定負けでタイトル奪取はならなかった。3ジャッジ全てがチャンピオン・三谷選手を支持(98-92、98-92、99-93)していたが、試合内容はスコア以上に接近していた好試合だった。7月の世界挑戦以来の再起戦を飾れなかった菊井は28戦21勝4KO7敗。3度目の防衛に成功した三谷選手は23戦21勝10KO2敗に。

木村章司、無敗の新鋭相手に分の良いドローで1位の座死守！

10月8日(月=祝)、後楽園ホールのメインイベントで行われた56kg契約の10回戦。日本スーパーバンタム級1位(元日本同級チャンピオン)・木村章司が初回に右の好打、2回には左フックでダウンを奪うなどペースは完全に支配していたが、中盤以降、手数差で落とすもつたいないラウンドを重ねたのが響き、無敗の新鋭・日本スーパーバンタム級6位・三浦数馬選手(ドリーム)選手と3者3様(97-96で木村、97-95で三浦選手、96-96)のドローに終わってしまった。1位の座を何とか死守した木村は24戦20勝7KO2敗2分。依然無敗の三浦選手は11戦10勝5KO1分に。

和田直樹、14年ぶりジム歴代6人目のB級トーナメント優勝！

10月30日(火)後楽園ホールで行われたB級トーナメント・ウェルター級決勝戦(6R)。最終回の追い込みで3者3様の引き分けに持ち込んだ和田が勝者扱い(引き分けとしたジャッジが和田を支持)となり、高倉敬典(89年スーパーフェザー級)、北澤鈴春(90年スーパーフライ級)、高橋建一(91年スーパーフライ級)、岡田明広(92年フライ級)、服部玲典(93年スーパーフライ級)に次ぐ14年ぶりジム史上6人目のB級トーナメント優勝者に輝いた。和田は7勝1KO3敗1分に。

福島仕、無念の5回KO負けでジム移籍初戦を飾れず。。

10月15日(月)、後楽園ホールのメインイベントで行われたスーパーバンタム級10回戦。日本バンタム級5位(元OPBF東洋太平洋、日本スーパーバンタム級チャンピオン)・福島 仕が日本スーパーバンタム級2位・瀬藤幹人選手(協栄)と対戦したが、5回1分08秒KO負けでジム移籍の初戦を飾ることができなかった。ダウン後、立ち上がり戦意十分だったが10カウントまで数えられてしまった。ジム移籍初戦飾れずの福島は41戦30勝19KO8敗3分。15連勝の瀬藤選手は32戦25勝12KO6敗1分に。

日本女子王者・猪崎かずみ、惜しくも東洋女子王者に判定負け

11月10日(土)新宿FACEで行われた、日本女子フライ級チャンピオン・猪崎かずみVS東洋女子フライ級チャンピオン・ツナミ選手(山木)のノンタイトル8回戦。日本女子ボクシング界最高のカードに相応しいハイレベルな攻防に終始したが、日本女子王者猪崎かずみは惜しくも東洋女子王者に判定で一歩及ばなかった。

◆試合結果(12月19日迄) **伊藤、中川、A級昇格王手！ 田畑、初のランカー相手に大善戦！**

日付・場所	試合名・階級	選手名	結果	対戦相手
9月24日(月)後楽園	4回戦・フェザー級	山形 英輝	●2回TKO負け	斉藤 司(三谷大和スポーツ)
・初勝利が欲しい山形。世界戦の前座の大舞台で初回は自分のペースで進めていたが2回、左眉をカットした後に相手の右に屈してしまった。2敗				
10月 8日(月)後楽園	10回戦・56.0kg契約	木村 章司	△10回引き分け	三浦 数馬(ドリーム) 日本6位
・今回は木村にとっては少々気の毒な判定になってしまったが、無敗の新鋭相手に依然日本のトップクラスの実力を十分アピールできた内容だった。				
10月15日(月)後楽園	10回戦・Sバンタム級	福島 仕	●5回KO負け	瀬藤 幹人(協栄) 日本2位
・後半勝負に強い福島にとってはダウンを喫してしまったが、これからという時に止められてしまい、持ち味を發揮できなかった。次戦に期待したい。				
10月24日(水)後楽園	8回戦・Sフェザー級	入江 一幸	●8回判定負け	木村 勇大(石川)
・A級(8回戦以上)3連勝を狙う入江(兄)。終盤は良いペースで進めていたが、中盤での手数に押された失点が響き0-2の惜しい判定負け。8勝3敗1分				
10月30日(火)後楽園	B級トーナメント決勝	和田 直樹	△6回引分(勝者扱)	細川 貴之(六島)
・これまでジムからB級トーナメントを制覇した6人は全員が日本ランカー(うち2人は日本王者に)になっている。来年、和田の活躍を大いに期待したい。				
11月 1日(木)後楽園	4回戦・Sバンタム級	今関 佑介	●4回KO負け	清水 開(新田)
・昨年11月以来の再戦に挑んだ今関。初回ダウンを取るも、最終回勝負に出たところで強烈なダウンを喫し惜しいKO負け。雪辱ならず。1勝4敗。				
11月12日(月)後楽園	4回戦・Sライト級	中野真佐人	○2回KO勝ち	能勢 敦公(ランド)
・花形ジム移籍初戦の中野。初回から左でペースを握る好スタート。2回、立て続けに右で2度のダウンを奪い見事なKO勝ち！2勝2KO				
11月18日(日)大森	4回戦・Sライト級	勝沼 祐介	●2回TKO負け	渡辺 圭太(北澤)
・初勝利が欲しい勝沼。初回から激しい打ち合いを演じるが2回、右ストレートを喰ってしまい強烈なダウンを喫する。上がるも無念のストップ。2敗				
11月23日(金)神戸	日本バンタム級イトルマッチ	菊井 徹平	●10回判定負け	三谷 将之(高砂) 日本王者
・敵地、神戸で一階級上の安定王者に対し真っ向勝負で観客を大いに沸かした菊井。暫くはリフレッシュして、また来年世界戦線への復帰を期待したい。				
12月 3日(月)後楽園	8回戦・52.5kg契約	田畑 光輝	●8回判定負け	原口 清一(草加有沢) 日本11位
・初の日本ランカー挑戦の田畑。初回から持ち前の積極性で再三に渡り日本11位を苦しめ、ランク奪取かと思われたが判定は相手を支持。7勝4敗3分				
12月 4日(火)後楽園	6回戦・Sバンタム級	伊藤 圭太	○6回判定勝ち	野中 晃(金子)
・初6回戦の伊藤。初回にオープンで減点、2回にダウンを喫し、いきなり3ポイントのビハインドを残りの4回で逆転する見事な勝利！5勝1KO5敗1分				
12月 4日(火)後楽園	6回戦・フェザー級	中川 健司	○6回判定勝ち	内山 卓也(F・I)
・B級(6回戦)初勝利が欲しい中川。2回に左フックでダウンを喫してしまうが以降強引にペースを奪い返し、こちらも見事な逆転判定勝利！6勝2KO2敗1分				
12月19日(水)後楽園	6回戦・54.5kg契約	田村 啓	●6回判定負け	佐藤 祐太(ワタナベ)
・A級王手の田村。初回好スタートも2回スリップ気味のダウンを喫する。最終回こそ攻勢も中盤での失点も響き、0-3の判定負け。5勝2KO12敗1分				

■2007年度 戦績まとめ

- ・世界タイトルマッチ出場数
- ・日本タイトルマッチ出場数
- ・A級(8回戦以上)勝利数
- ・B級(6回戦)勝利数
- ・A級(8回戦以上)昇格者

【全戦績】 45戦14勝2KO25敗6分

- ①菊井徹平(1回=7/13・WBCスーパーフライ級)
- ①菊井徹平(2回=2/12・スーパーフライ級 11/23・バンタム級)
- ①入江一幸(2勝) ②木村章司(1勝)
- ※入江の2勝は全て8回戦、木村の1勝は10回戦でマークしたもの
- ①鎌田剛幸(2勝) ②和田直樹(1勝) ②田畑光輝(1勝)
- ②中川健司(1勝) ②伊藤圭太(1勝)
- 和田直樹 鎌田剛幸 田畑光輝